

2022年度 社会福祉法人青谷学園事業報告書

1 総 括

D X元年と位置付け、経営や業務プロセスそのものを根本的に改革する取り組みを開始しました。デジタル化により生産性の向上は一定の成果を出すことができ、正規職員の月平均残業時間を25分としながらも、エッセンシャルワーカーとしてご利用様との触れ合う時間を大切にした福祉サービスを提供することができました。

健康ファミリー青谷学園を掲げて、いきいきとした生活を送ることや、がんの早期発見の取り組み等の健康経営に取り組んだ結果、ブライト500の認定を受けることができました。

地域貢献活動として取り組んでいるフードバンク・フードドライブ事業では、当法人の認知度が徐々に上がり、食材の提供団体が増え、地域の中核としてその機能を果たすことができました。

2 D Xの推進

デジタイゼーションに続きデジタルイゼーションを進め、法人内の承認書類や回覧はほぼ電子に切り替わりました。正規職員の全員にスマートホンを配布し、アプリを使ったインカムによる通信、眠りスキャンとの連携させたご利用様の状況確認、LINEWORKS活用による幅広い情報共有が行えるようにしました。

3 危機管理対策の強化

新型コロナ対策として、感染症・食中毒対策委員会を設置し、感染症の予防及びまん延防止の研修や訓練を行うなど全力を挙げて取り組みましたが、2度の集団感染となってしまいました。

大規模災害の備えとして、ご利用様と職員、さらに当施設に避難されてきた方が、一定期間生活ができるよう7日分の食糧と生活必需品を備蓄しました。

4 健全経営の取り組み

新型コロナ対策に相当の予算が取られる中、急激な物価高騰に見舞われ、大変厳しい状態が続きましたが、遺贈寄附金があったことや、一人ひとりが節約に努めたことから事業活動計算書では赤字決算は回避することができました。

そんな中でも、職員の処遇改善事業を継続しながら、賞与は前年と同率の4.1か月を維持、また、リスクリングのきっかけとなるよう技能・資格手当の充実も図りました。

5 健康保持・増進の取り組み

(1) 健康経営優良法人認定

健康経営優良法人2023は、中小規模法人部門での申請となりましたが、ブライト500の認定を受けることができました。

また、加入しているがん対策推進企業アクションでは、その取り組みが優れているということから、がん対策推進パートナー賞に選ばれました。

(2) 健康アプリ「カロママ」の活用

アプリの活用を促すため担当者が利用促進セミナーを受講したり、活用レポートコンテストを催したりしてカロママの普及を図りました。

(3) 体成分分析装置の活用

感染症対策のため地域の健康増進のためには活用することができず、職員やご利用者様への利用にとどまりました。

(4) 健康診断・がん検診

定期健康診断や生活習慣病予防健診のほか、46歳と56歳の者には人間ドックによる健診をしました。

20歳以上の偶数年齢女性職員には子宮頸がん検診を、40歳以上の偶数年齢女性職員には乳がんマンモグラフィ検診を、36歳以上の偶数年齢男性職員には前立腺がん検診を行いました。

また、本年度は35歳未満の生活支援員を対象に、B型肝炎検査とC型肝炎検査を行いました。

健康診断の結果「要再検査」「要精密検査」といった通知があった者の再検査実施率は100%でした。特定健康診査の受診率も100%でした。

(5) ストレスチェック

本年度からストレスチェックの対象者を週20時間以上労働に拡大して実施しました。受検率は100%でした。結果は集団分析を行い職場環境の改善に役立てています。

この他、自身の状態に早く気付くことを目的に6か月ごとにショートサーベイストレスチェックも実施しました。

6 人材育成と人材確保

「人を育てる」体制づくりに取り組みました。本年度から新卒採用は法人一括で行うようにしたことから、採用前の職場体験や研修受講を一元的に行うことができバラつきがなくなりました。採用後はプリセプター制度による丁寧な教育をしています。

また、有益な資格取得した際のお祝い金を増額し、資格取得支援の充実を図りました。

外注している福利厚生サービスの契約を見直し、全員にカタログギフトが配布されるなど安価にしなからも充実したサービスを提供しました。

(1) 平均残業時間及び年次有給休暇取得率

一人ひとりが「残業をしない」という意識を持って取り組んだ結果、非正規職員も含めたすべての職員の月平均法定外残業時間は15分、正規職員のみでは25分でした。

年次有給休暇の取得率はすべての職員で91.4%、正規職員のみでは90.6%でした。

(2) 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の推進

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画では、「次長補佐以上の女性管理職を4名から5名以上に増やす」目標を掲げ、2021年4月から3年間で取り組むとしていましたが、1年短縮の本年度に達成することができました。

次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画では、「年次有給休暇の取得率をひとり当たり70%以上とする」などの目標を掲げていましたが、こちらも達成できました。

7 情報セキュリティ管理

従前から契約しているウイルス対策やIT資産管理に加え、DXの推進に伴い導入したスマートホン用の一括管理システムにより内外に対する管理を強化することができました。

また、情報セキュリティ担当者には、IPAの研修を受講させるなどセキュリティリテラシーの向上に努めました。

8 地域社会への貢献

京都府社会福祉協議会が取り組む「きょうとフードセンター」に参画し子ども食堂に食材を分配しました。少しずつ取り組みが知られるようになり食材を提供してくださる団体が増えました。特に当事業所では専用の大型冷凍冷蔵庫を備えていることから、冷凍・冷蔵食品が倍増しました。

城陽市社会福祉協議会が主催するサマースクールに参画して、ハンディキャップを持った子どもたちへの支援をしました。

9 パートナーシップ構築

パートナーシップ構築宣言に基づき、環境負荷の少ない商品・サービスや、環境配慮に積極的に取り組んでいる企業から、優先的に調達を行いました。また、取引先に対して健康経営を勧めました。

法人本部

1 理事会の開催状況

次のとおり理事会を開催しました。

開催月日 場 所	出席理事 ／定数	出席監事 ／定数	議 題
6月3日 青谷学園 ホール	6/6	2/2	【報告事項】 第1号報告 社会福祉充実計画の作成が不要であったことの報告 第2号報告 理事長の職務の執行状況の報告 第3号報告 理事長の専決事項の報告 第4号報告 地域貢献事業に関する取り組み状況の報告 第5号報告 健康経営に関する取り組み状況の報告 【決議事項】 第1号議案 2021年度事業報告と決算の件 第2号議案 2022年度第1次補正予算の件 第3号議案 正規職員就業規則一部変更の件 第4号議案 育児・介護休業等に関する規則一部変更の件 第5号議案 役割等級規程一部変更の件 第6号議案 旅費規程一部変更の件 第7号議案 内部通報に関する規程制定の件 第8号議案 D〇施設長選任の件
10月24日 青谷学園 ホール	5/6	2/2	【報告事項】 第1号報告 理事長の職務の執行状況の報告 第2号報告 理事長の専決事項の報告 第3号報告 地域貢献事業に関する取り組み状況の報告 第4号報告 健康経営に関する取り組み状況の報告 【決議事項】 第1号議案 個人情報保護方針の策定及び個人情報保護規程制定並びに個人情報保護に対する基本方針の廃止、個人情報管理規程の廃止、特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針の廃止、特定個人情報取扱規程の廃止の件 第2号議案 人事考課規程一部変更の件 第3号議案 正規職員就業規則一部変更の件 第4号議案 無期雇用パートタイム職員就業規則一部変更の件 第5号議案 有期雇用パートタイム職員就業規則一部変更の件 第6号議案 育児・介護休業等に関する規則一部変更の件 第7号議案 役割等級規程一部変更の件 第8号議案 D〇改築計画策定の件 第9号議案 2022年度第2次補正予算の件
12月23日 決議の省略	6/6	2/2	【決議事項】 第1号議案 2022年度第3次補正予算の件
3月14日 青谷学園 ホール	6/6	2/2	【報告事項】 第1号報告 理事長の職務の執行状況の報告 第2号報告 理事長の専決事項の報告 第3号報告 地域貢献事業に関する取り組み状況の報告 第4号報告 健康経営に関する取り組み状況の報告 【決議事項】 第1号議案 正規職員就業規則一部変更の件 第2号議案 無期雇用パートタイム職員就業規則一部変更の件 第3号議案 有期雇用パートタイム職員就業規則一部変更の件 第4号議案 人事考課規程一部変更の件 第5号議案 役割等級規程一部変更の件 第6号議案 60歳定年退職者の再雇用規程 第7号議案 慶弔見舞金規程一部変更の件 第8号議案 正規職員転換制度規程一部変更の件 第9号議案 無期雇用パートタイム職員転換制度規程一部変更の件 第10号議案 青谷学園運営規程一部変更の件 第11号議案 D〇運営規程一部変更の件 第12号議案 経理規程細則一部変更の件

			第13号議案 積立金計画一部変更の件 第14号議案 2022年度第4次補正予算の件 第15号議案 役員賠償責任保険加入の件 第16号議案 DO給食業務委託業者選定にかかる入札実施の件 第17号議案 2023年度事業計画と予算の件 第18号議案 評議員選任・解任委員選任の件 第19号議案 次期役員就任候補者原案作成の件 第20号議案 次期評議員就任候補者原案作成の件
--	--	--	--

2 定時評議員会の開催状況

次のとおり定時評議員会を開催しました。

開催月日 場 所	出席評議員 ／定数	出席役員	議 題
6月24日 青谷学園 ホール	8/8	理事長 理事2名	【報告事項】 第1号報告 2021年度事業報告 第2号報告 社会福祉充実計画作成不要であったことの報告 【決議事項】 第1号議案 2021年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の件 第2号議案 役員・評議員・委員規程一部変更の件 第3号議案 役員・評議員・委員報酬規程一部変更の件 第4号議案 役員退職慰労金規程一部変更の件 第5号議案 監事選任の件

3 監事監査の実施状況

次のとおり監事監査を実施しました。

実施月日 場 所	出席監事 ／定数	説明者	監 査 事 項
5月27日 青谷学園 会議室	2/2	理事長 職員2名	現金残高 預金残高証明書 登記簿謄本 事業報告 貸借対照表 収支計算書 積立金・引当金 財産目録 重要な決裁書類等 評議員会議事録 利用者預り金元帳 社会福祉充実残算定シート

4 役 職 員

(1) 残業時間

管理監督者を除く職員の法定外残業はありませんでした。

(2) 一般事業主行動計画

ア 年次有給休暇の取得率

当該年度に付与された日数に対して取得率70%以上という目標は達成しました。

本部の職員の平均取得率は100%でした。

イ 職員の家族の職場訪問

青谷学園と合同で8月22日にオンラインにより開催しました。1家族4人の参加がありました。

(3) 会議の開催状況

会 議 名	開 催 数
健康経営会議・衛生委員会	12回

(4) 研修受講の状況

ア 法人主催

実施月日	内 容	講 師	場 所	参加者内訳
10月27日	メンタルヘルス研修「個人と組織の元気づくり～メンタルタフネスをめざして～」	ソーシャルスキル合同会社代表	青谷学園ホール	法人本部 4名 青谷学園 53名 D O 17名 相談支援 1名
11月24日	がんになっても働ける職場づくり～人生100年時代治療しながら働く職場を考える～	京都府産業保健総合支援センター 産業保健専門職(保健師)	青谷学園ホール	法人本部 4名 青谷学園 49名 D O 13名 相談支援 1名
12月27日	電子帳簿保存、スキャナ保存、電子取引保存	事務局長	法人本部事務室	法人本部 2名 青谷学園 2名 D O 1名 相談支援 1名

イ 外部団体主催

開催日	研 修 会 名	主 催 者	開催地	参加者内訳
6月23日	副業・兼業制度活用促進セミナー	京都市	オンライン	理事長
8月23日	企業コンソーシアム研修会	がん対策推進企業アクション	オンライン	本部職員 1名
9月26日	紙の電子化でワークスタイルを変える	大塚商会	オンライン	本部職員 1名
10月14日	社会福祉事業施設長向け IT 理論研修「デジタル I T 人材育成方法」の案内	PCA/シリング	オンライン	本部職員 1名
10月28日	インボイス制度の概要と対応	京都府社会福祉協議会	オンライン	理事長
11月29日	監事専門講座	全国社会福祉法人経営者協議会	オンライン	本部職員 1名
1月13日	健康保険委員研修会	全国健康保険協会京都支部	YouTube	本部職員 1名
1月23日	組織・人材マネジメント委員会セミナー (全国青年経営者協議会	オンライン	理事 1名
1月24日	社会福祉法人経営者セミナー	京都府社会福祉協議会	京都市	理事長 本部職員 1名
2月 2日	社会福祉法人の経営力強化～2023年の法人戦略を考えてみよう～	福祉経営研究機構	オンライン	本部職員 1名
2月17日	両立支援コーディネーターのための事例検討会	京都産業総合保健センター	オンライン	本部職員 1名

5 固定資産の整備状況

時 期	内 容	取得金額
7月11日	一体型デスクトップパソコン1台(整備)	251,778円
11月30日	スキャナ保存一体型複合機1台(更新)	788,334円
12月31日	ホームページ作成管理ソフトウェア(整備)	1,446,500円

6 補助金等の受け入れ状況

交付団体	補助金等の種類	補助額
労働者健康安全機構	治療と仕事の両立支援助成金	200,000円
京都府社会福祉協議会	京都地域福祉創生事業助成金	212,151円

障害者支援施設 青谷学園

ご利用者様と職員の健康と安全を最優先に考え、新型コロナウイルス感染症予防対策も万全を期して取り組みましたが、12月に集団感染が発生しました。

感染症対策による制約がある中でも、施設内で行ったイベントはご家族様にZoom配信しリアルタイムで感動を届けることができました。

デジタル化では、各種記録のデータ管理や情報の一元管理を進めることができました。

1 利用者支援

高齢化への対応として、理学療法士によるリハビリやリラクゼーションセラピーを行って身体機能の維持に努めました。運動不足解消のため、毎日軽運動とラジオ体操の時間を取りました。骨折しにくい強い骨の形成のために日光浴マシンを積極的に活用しました。

本年度から歯科衛生士による生活支援員への口腔ケアについての技術的助言・指導を月に2回行い、より質の高い口腔ケアをご利用者様に提供しました。

(1) 利用人数

生活介護と施設入所支援のサービスを提供しました。空床型短期入所は、感染防止から受け入れができませんでした。

サービス種別	定員	延べ利用人数	1日平均利用人数	利用率
施設入所支援	70名	24,924人	68.28人	97.55%
生活介護	60名	24,914人	68.26人	113.76%
短期入所	空床の範囲内	0人		

(2) 虐待防止・身体拘束等の適正化のための対策検討委員会

ご利用者様への虐待防止及び早期発見への組織的対応を図るため、また、身体拘束等のない支援を行うために、虐待防止・身体拘束等の適正化のための対策検討委員会を3か月に1回開催しました。7月と12月にセルフチェックを実施し職員の意識向上に努めました。

10月～12月にかけて開催した虐待防止研修では、職員を小人数のグループで虐待防止と権利擁護についてディスカッションを行いました。

虐待防止の意識を高めるために障害者虐待について紹介する館内放送を12月の障害者週間の時期に合わせて1か月間流しました。

(3) 感染症・食中毒対策委員会

感染症並びに食中毒の予防及び感染症のまん延防止のために開催する感染症・食中毒対策委員会は、3か月に1回定期開催しました。

委員会では前年度2月に起きた男性フロアでのクラスター対応の経験を基に、BCPや各種感染症予防マニュアルの見直しや食中毒予防、新型コロナウイルス感染症の陽性者が出た場合を想定したゾーニングやガウンテクニック等の具体的な感染予防方法を確認しました。

感染症予防及びまん延防止の研修は全職種の職員を対象に、正しい手洗い方法について動画を見て、実際に薬液とブラックライトを用いた実践研修を1回実施しました。

調理従事者には、食中毒予防及びまん延防止の研修を4回行いました。内容は食中毒予防のための食品衛生のルールや、身近に潜む食中毒菌の種類と特徴を学ぶ、洗浄・清掃・殺

菌の重要性の理解を深めることなどを行いました。

新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ・ノロウイルス食中毒のまん延防止訓練を1回行いました。

(4) 作 業

自主製品として芳香剤となる「ヒノッキオ」、入浴剤の「ハートバスボム」、ヘアゴムの「くるみちゃん」、「彩ブレスレット」を販売しました。地域のイベントや法人設立40周年記念パーティーでも出店することができました。

収益は商品券に替えてご利用者様に分配しました。

売 上 金	34,300円
材 料 費	1,811円
収 益	32,489円

(5) 創作活動

ものづくりを楽しむ時間として月に4日創作活動をしました。

(6) フレイル予防

特別整容では車いすをご利用の方や座位時間が長い方に対して足浴やマッサージを行い、血行促進から浮腫み改善に努めました。理学療法士が中心となって、日々の運動時間では下肢筋力を刺激する体操メニューを取り入れることとし、楽しく体を動かせる取り組みをしました。

また、さまざまな栄養素をバランスよく取り入れた食事をしっかりと摂っていただけるよう誤嚥に注意しながら食事支援を行いました

(7) 食 事

調理は手作りを基本とし、季節感を取り入れた食事を提供しました。ソフト食やヘルシーメニューなどさまざまな治療食にも対応し、健康診断の結果を基にした個別の栄養ケアを行いました。塩分量を1日7.0グラムとしました。

嗜好調査は9月に実施し、ご利用者様の希望に沿った献立や調理を心がけました。

(8) 健康管理

嘱託医師による定期診察を月に2回行いました。健康診断は9月と3月の2回実施しました。また、歯科医師の往診を週に1回設けました。

筋肉量や水分量が測定できる体成分分析装置を使った身体測定を定期的に行いました。サルコペニアの予防につなげました。

高齢者の骨折予防のため日光浴マシンを積極的に活用しました。カルシウム豊富な食事と適度な日光浴により骨量低下の改善を図りました。

(9) リハビリ

嘱託医師、理学療法士、看護師、サービス管理責任者、栄養士、リハビリ担当生活支援員が連携をとり機能維持訓練を週1回行いました。

(10) リラクゼーションセラピー

セラピストの資格を持つ職員がリラクゼーションセラピーを週2回行いました。

(11) 特別整容

車いすの方を対象に浮腫み改善のため、月に2回足浴やマッサージを行いました。

(12) レクリエーション

次のとおり実施しました。このほか買い物として週2回コンビニエンスストアに出かける機会を設けました。

実施日	内 容	場 所
4月19日	いちご狩り	精華町 華やぎ観光農園
4月26日	いちご狩り	精華町 華やぎ観光農園
4月28日	バーベキュー	施設内
5月24日	バーベキュー	城陽市 友愛の丘
7月5日	源氏物語ミュージアム見学	宇治市 源氏物語ミュージアム
7月9日	よしもとお笑いライブ	城陽市 文化パーク城陽
7月14日	夏祭り	施設内
9月27日	宇治市植物園公園散策	宇治市 宇治市植物園
10月18日	バーベキュー	城陽市 友愛の丘
10月25日	木津川運動公園散策	城陽市 木津川運動公園
10月31日	ハロウィンパーティー	施設内
11月15日	けいはんな記念公園散策	精華町 けいはんな記念公園
11月22日	けいはんな記念公園散策	精華町 けいはんな記念公園
12月3日	京都とっておきの芸術祭見学	京都市 日囷デザイン博物館
12月18日	城陽第九フェスティバル鑑賞	城陽市 文化パーク城陽
1月3日	初詣	京田辺市 昨岡神社
1月12日	新年会	施設内
3月6日	青谷梅林観賞	城陽市 青谷梅林
3月22日	法人設立40周年記念パーティー	京都市 ホテルグランヴィア京都

(13) 事故の発生状況

行政に報告書を提出した事故は次のとおりです。

発生日	内 容
8月9日	60代女性 転倒し左手関節と右足第4第5趾を骨折
9月8日	50代女性 加重により、左脛骨の高原骨折
12月19日	40代女性 他のご利用者様に押され転倒し右大腿部を骨折
12月21日	50代女性 脱力し右外踝部にヒビ
1月17日	60代女性 多動で捻じり、左大腿骨遠位端部を骨折

(14) 苦情受付状況

ありませんでした。

2 安全対策

(1) 訓練の実施状況

実施日	訓 練 内 容	参 加 者	備 考
5月26日	誤嚥・誤飲	生活支援員5名	
6月23日	不審者対応訓練	生活支援員7名	

6月23日	B C P 訓練(震災想定)	施設長 生活支援員 22名 看護師 3名 管理栄養士 1名 栄養士 1名 調理員 2名 事務員 1名	
7月19日	感染症対策訓練(ゾーニング等)	生活支援員 6名 看護師 1名	
7月28日	誤嚥・誤飲	生活支援員 3名	
8月25日	総合訓練(消火・通報・避難・救護)	利用者 69名 生活支援員 21名 看護師 3名 管理栄養士 1名 栄養士 1名 調理員 5名	
10月20日	夜間想定での避難・通報・消火訓練	生活支援員 4名	
11月21日	災害時訓練(洪水想定)	利用者 70名 生活支援員 11名	
1月26日	機器の操作訓練・屋内散水栓の使用法等(机上訓練)	施設長 生活支援員 24名 看護師 4名 栄養士 1名 調理員 3名 事務員 2名	
2月 3日	誤嚥・誤飲	生活支援員 4名	
2月 7日	誤嚥・誤飲	生活支援員 3名	
2月16日	感染症・食中毒まん延対応訓練	生活支援員 24名 看護師 3名 栄養士 1名 調理員 3名 事務員 3名	
3月14日	D O との合同総合訓練(消火・通報・避難・救護)	利用者 68名 施設長 生活支援員 23名 看護師 3名 栄養士 1名 調理員 3名 事務員 3名 近隣者 7名	消防署立合 あり 近隣者の参 加あり
3月14日	福祉避難所対応訓練	施設長 生活支援員 23名 看護師 4名	

(2) 感染症・食中毒対策

全職員にインフルエンザの予防接種を行いました。給食従事者には、通常の検便項目の他にノロウイルス検査も行いました。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、N95マスク、検温機能付きのアルコールディスペンサー等の整備を行いました。京都府により定期的に行われた抗原検査は毎回全職員が受けました。

(3) 災害用備蓄品

ご利用者様と職員分を含めて100名が7日間生活できる量の食料と日用消耗品の備蓄をしており、点検並びに一部入れ替えを行いました。

3 職 員

(1) 残業の削減

一人ひとりが「残業をしない」という意識を持って取り組みました。管理監督者を除く職員の法定外残業時間は、非正規職員も含めたすべての職員で月平均13分、正規職員のみでは23分でした。

(2) 一般事業主行動計画

ア 年次有給休暇取得率

当該年度に付与された日数に対して取得率70%以上という目標は達成しました。

青谷学園の全職員の平均取得率は90.4%、正規職員のみでは89.3%でした。

イ 職員家族の職場訪問

8月28日にオンライン形式で開催しました。21家族61名の参加がありました。

(3) 育児休業取得状況

男性職員1名が育児休業を取得しました。取得率は100%でした。

(4) 口腔援助技術指導

歯科衛生士が生活支援員に対して月2回の口腔援助技術指導を行いスキルの向上に努めました。

(5) 健康増進

1日2回のラジオ体操を全職員で実施しました。生活支援員の腰痛予防では、ノーリフティングケアを徹底するとともに、始業時に腰痛予防体操を実施した結果、腰痛労働災害はゼロにすることができました。

がん教育として、がん対策推進企業アクション制作のYouTube「がん教育講座」と小冊子「がん検診のススメ」の朗読を館内放送で流しました。

(6) 実践研究報告会の開催

9月と3月にご利用者様への支援の成果や人材育成の方法に関して研究し、その成果を発表する場として実践研究報告会を開催しました。事例内容を資料にまとめプレゼンをする機会を通じて職員の質の向上に寄与しました。プレゼンの様子にご利用者様のご家族様もオンラインで視聴の案内をしましたが、参加はありませんでした。

(7) 各種会議の開催状況

会議名	開催数
職員会議	12回
管理職会議	11回
個別支援会議	22回
個別支援計画作成会議	4回
支援計画作成委員会	6回
利用者安全対策委員会	6回
感染症・食中毒対策委員会	4回
虐待防止委員会	4回
利用者食事形態検討会議	12回
サービス向上委員会	11回
地域貢献・交流促進委員会	3回

サービス評価委員会	3回
衛生委員会・健康会議	12回

(8) 研修受講の状況

ア 法人・施設主催

実施月日	内 容	講 師	場 所	参加者内訳
4月28日	救急心肺蘇生法(AEDの取り扱い)	看護師	ホール	生活支援員 24名
4月28日	新型コロナ感染症対策研修	看護師	ホール	生活支援員 22名 看護師 3名
7月28日	虐待防止研修(新入職員対象)	リーダー(生活支援員)	2階作業室	生活支援員 5名
8月25日 8月26日	手洗い実践研修	次長補佐(栄養士)	ホール	生活支援員 25名 看護師 4名 管理栄養士 1名 調理員 7名 事務員 1名
9月9日	危険予知訓練	主任(生活支援員)	2階作業室	生活支援員 2名
9月22日	腰痛予防対策研修	主任(生活支援員)	ホール	生活支援員 28名 看護師 4名 管理栄養士 1名 栄養士 1名 調理員 2名
10月27日	メンタルヘルス研修「個人と組織の元気づくり～メンタルタフネスをめざして～」	ソーシャルスキル合同会社代表	ホール	施設長 生活支援員 28名 看護師 4名 調理員 2名 栄養士 1名 事務員 2名 非正規職員 13名
11月24日	がんになっても働ける職場づくり～人生100年時代治療しながら働く職場を考える～	京都府産業保健総合支援センター産業保健専門職(保健師)	ホール	施設長 生活支援員 20名 看護師 4名 調理員 2名 栄養士 1名 事務員 2名 非正規職員 10名
11月24日 11月25日 11月27日 12月12日 12月20日 12月22日 1月15日 1月21日 1月26日	虐待防止・権利擁護研修	リーダー(生活支援員)	2階職員詰所	生活支援員 32名 非正規職員 5名
2月20日	危険予知訓練	主任(生活支援員)	3階作業室	生活支援員 4名
2月27日 2月28日 3月22日 3月27日 3月28日	OJTプリセプター研修	主任(生活支援員)	職員室	生活支援員 6名 調理員 1名 本部事務員 1名

上記の他、採用時に新入職員研修を行いました。

イ 外部団体主催

開催日	研 修 会 名	主 催 者	開催地	参加者内訳
4月22日	高齢・障害施設のための新型コロナウィルス感染症対策研修	京都府健康福祉部高齢者支援課・障害者支援課	オンライン	施設長 事務員 1名 看護師 1名
6月3日 7月13日	強度行動障害支援者養成研修基礎研修	京都府	オンライン 京都市	生活支援員 1名
6月13日 8月2日 8月3日	サービス管理責任者等基礎研修	京都府社会福祉協議会	オンライン 京都市	生活支援員 1名
6月18日	高齢者・障害者施設におけるコロナ患者留置問題を考える	京都府保険医協会	オンライン	生活支援員 1名 看護師 1名

6月22日 ～9月6日	強度行動障害支援者養成研修基礎研修	南山城学園	オンライン 城陽市	生活支援員 1名
8月1日 ～31日	相談支援従事者初任者研修	京都府社会福祉協議会	オンライン	生活支援員 2名
8月1日 ～10月13日	サービス管理責任者等更新研修	京都府社会福祉協議会	京都市	生活支援員 1名
8月29日	企業内人権啓発推進者研修会・京都府内企業内人権問題啓発セミナー	京都労働局職業対策課	京都市	生活支援員 1名
9月2日	OJT推進者研修	京都府福祉人材サポートセンター	オンライン	生活支援員 1名
9月7日	中堅職員研修Ⅱ	京都府福祉人材サポートセンター	オンライン	生活支援員 2名
9月9日	新任職員研修	京都府福祉人材サポートセンター	オンライン	生活支援員 6名
9月16日	指導職研修Ⅰ	京都府福祉人材サポートセンター	オンライン	生活支援員 2名
9月1日 ～11月1日 11月2日	強度行動障害支援者養成研修実践研修	京都府社会福祉協議会	オンライン 京都市	生活支援員 1名
10月3日	段取り研修～スキルアップ編「リーダーとして必要なスキルを習得・確認」	インソール	オンライン	看護師 1名
10月5日	女性リーダー研修～スキルアップ編「リーダーとして必要なスキルを習得・確認」	インソール	オンライン	生活支援員 1名
10月11日	高齢者福祉施設及び障害福祉施設の業務継続計画(BCP)策定に関する研修	京都府	オンライン	施設長 生活支援員 1名
10月12日	法人内講師養成研修	京都府福祉人材サポートセンター	京都市	生活支援員 1名
10月12日 11月8日 11月22日	リカレント研修経営マネジメント力養成コース	京都府	京都市	施設長
10月14日 ～12月31日	高齢者施設等を対象とした介護職員向け感染症対策研修「介護福祉現場のための感染対策～理由を知らなければ怖くない！」	京都府	オンライン	生活支援員 2名 看護師 1名
10月18日 12月16日	刈払機取扱作業従事者(実技事業者実施)安全衛生WEB講座	建設不動産総合研修センター	オンライン 施設敷地内	生活支援員 1名
10月19日	企業対象人権研修会	京都人権啓発行政連絡協議会	京都市	施設長
10月24日	管理職研修Ⅰ	京都府福祉人材サポートセンター	京都市	生活支援員 1名
10月26日	中堅職員研修Ⅰ	京都府福祉人材サポートセンター	京都市	生活支援員 1名
12月5日	民間社会福祉施設長研修会	京都府	オンライン	施設長
1月27日 ～2月28日	障害者虐待防止マネージャー研修会	全国社会福祉協議会	オンライン	施設長 生活支援員 2名
2月11日 2月12日	障がい者のためのレクリエーション支援者養成研修会	全国障害者総合福祉センター	オンライン	生活支援員 2名
2月13日	社会福祉法人会計実務者決算講座	全国社会福祉法人経営者協議会	オンライン	事務員 1名
2月28日 ～3月14日	強度行動障害がある方の生活支援を考える研修会	京都府	オンライン	生活支援員 2名
3月16日 ～17日	強度行動障害支援者養成研修基礎編	ホットラインワールド	大津市	生活支援員 3名

4 情報公開

(1) ホームページの活用

ホームページを活用して様々な情報を発信しました。

(2) 広報誌の発行

ご利用者様とご家族様向けの広報誌「しゃらら」を毎月発行しました。

(3) 第三者評価受審

施設の透明性を確保するために10月に第三者評価を受審しました。

5 固定資産の整備状況

時期	内 容	整備費
7月11日	ノートパソコン1台(更新)	247,085円
7月31日	ローパーティション4台(整備)	427,790円
10月31日	ノートパソコン1台(整備)	148,742円
11月30日	スキャナ保存ソフト一体型複合機1台(更新)	788,333円
12月31日	ゴミ保管庫2台(更新)	650,000円
12月31日	製氷機1台(更新)	526,900円
12月31日	パススルー冷蔵庫1台(更新)	394,900円
12月31日	台下冷蔵庫1台(更新)	299,200円
1月31日	洗濯室洗濯用流し1台(更新)	440,000円

6 補助金等の受け入れ状況

交付団体	補助金等の種類	金額
京都労働局	両立支援等助成金出生時両立支援コース	720,000円
京都労働局	特定求職者雇用開発助成金特定就職者困難者コース	800,000円
京都府国保連	福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金	3,104,522円
京都府	新型コロナウイルス感染症に係る障害福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業補助金	177,000円
京都府	原油価格・物価高騰対策緊急支援事業補助金	420,000円
京都府	社会福祉施設等省エネ推進緊急対策支援事業補助金	915,000円
京都府	施設整備借入金元金償還金補助金	1,933,260円
城陽市	障がい者福祉施設等原油価格高騰対策支援給付金	45,000円
城陽市	障がい者福祉施設等感染拡大防止対策事業助成金	725,000円
東邦電気産業	基金助成金(ご利用者様の余暇助成金)	300,000円
合	計	9,139,782円

7 ご家族様とのかかわり

新型コロナウイルス感染症の予防から家族会の定例会は全て中止しました。感染症まん延期においては、ご利用者様との面会はオンラインでお願いし、施設内で行ったイベントの様子はZoomでライブ配信しました。

ご家族様を対象としたアンケート調査を実施しサービス向上に活用しました。

8 地域貢献

(1) 出張講座

11月17日、京都医療福祉専門学校において40名の学生を前に、青谷学園の施設長と生活支援員(主任)がソーシャルワークなどについての講義を行いました。

(2) 実習学生の受入れ状況

学 校 名	目 的	人 数	実 習 日
龍谷大学短期大学部	現場実習	3名	7月26日～7月31日
龍谷大学短期大学部	現場実習	5名	8月26日～9月5日
龍谷大学短期大学部	現場実習	3名	12月19日～12月23日
京都医療福祉専門学校	現場実習	1名	9月12日～9月20日
京都文教短期大学	現場実習	3名	10月4日～10月14日
京都文教短期大学	現場実習	3名	10月18日～10月28日
京都教育大学	介護等体験	1名	11月7日～11月11日
白鳳短期大学	現場実習	1名	11月7日～11月17日
京都女子大学	現場実習	4名	1月31日～2月10日
京都女子大学	現場実習	4名	2月14日～2月24日
京都女子大学	現場実習	3名	2月28日～3月10日

(3) インターンシップの受入れ

新型コロナウイルス感染症の予防から募集を中止しました。

(4) 施設公開

新型コロナウイルス感染症の予防から、施設公開はオンライン形式で開催しました。

146回の視聴がありました。

障害者支援施設 DO

ご利用者様と職員の健康と安全を最優先に考え、新型コロナウイルス感染症予防対策も万全を期して取り組みましたが、11月に集団感染が発生しました。

高齢化に対応するためフレイル予防に取り組み、骨折や誤嚥が起こらないような支援をしました。

開所から30年の節目を迎え、時代に合った設備への更新や体制づくりを行いました。また、施設老朽化に伴う改築計画の策定に着手しました。

1 利用者支援

ご利用者様の意思を尊重するサービスの提供を重視しました。毎月開催する人権委員会ではご利用者様からさまざまなご意見を伺い支援に反映させました。

新型コロナウイルス感染拡大により、日課やプログラムの変更、外出行事を中止しましたが、施設内でのレクリエーションなどを充実させ、楽しく過ごしていただけるよう工夫しました。

(1) 利用人数

生活介護と施設入所支援のサービスを提供しました。空床型短期入所は、感染防止から受け入れができませんでした。

サービス種別	定員	延べ利用人数	1日平均利用人数	利用率
施設入所支援	30名	11,263人	30.86人	102.86%
生活介護	40名	12,883人	35.30人	88.24%
短期入所	空床の範囲内	0人		

(2) 虐待防止・身体拘束等の適正化のための対策検討委員会

委員会を8回開催し、セルフチェックリストをもとに虐待や身体拘束の有無や、それらが起こり得る状況であるかを検証しました。2月に「虐待防止・身体拘束の適正化を考える日」を設けて全職員を対象に研修を行いました。

(3) 感染症・食中毒対策委員会

3か月に1回委員会を開催しました。感染症や食中毒の研修を行ったり、嘱託医から感染症対策のレクチャーを受けたりしました。

(4) 作業

新型コロナウイルスの影響から、内職は作業量の少ない状況が続き、リサイクル自転車整備販売も低調でした。喫茶CafeDOは、施設内のみならず青谷学園で販売することができました。利益は工賃として、ご利用者様に分配しました。

売上金	喫茶CafeDO	2,510,475円
	リサイクル自転車販売(5台販売)	27,500円
	内職作業(ユタカ産業)	113,596円
	合計	2,651,571円
材 料 費		2,244,280円
収 益		407,291円

(5) クラブ活動

余暇時間の充実のため、絵画やスポーツチャンバラを行いました。

(6) レクリエーション

次のとおり実施しました。買物外食は中止しました。

実施日	内 容	場 所
4月21日	春の祭り(通所のみ)	施設内
4月26日	春の祭り(入所のみ)	施設内
4月27日	春の祭り(入所のみ)	施設内
6月3日	日帰り旅行(入所のみ)	東近江市 リバーサイドグランピング NuTs
6月9日	日帰り旅行(入所のみ)	野洲市 めんたいパークびわ湖
8月4日	夏の祭り(通所のみ)	施設内
8月31日	夏の祭り(入所のみ)	施設内
12月20日	クリスマスイベント(通所のみ)	施設内
12月24日	クリスマス会(入所のみ)	施設内
1月3日	初詣(入所のみ)	京田辺市 咋岡神社
3月22日	法人設立40周年記念パーティー	京都市 ホテルグランヴィア京都

(7) 社会の時間

外出による社会の時間は中止しましたが、社会でイキイキと過ごすために必要なこととして、フレイルと人権についての勉強会を実施しました。

(8) 心と体のケアに対する取り組み

ア 運動

ゲーム、スポーツ、ウォーキング、高齢者の機能維持体操を実施しました。体力保持や機能維持だけでなく、ストレス発散や情緒安定に努めました。

イ メディテーションアワー

職員の歌声を届け情緒安定に努めました。

(9) 自治会活動支援

ご利用者様の自治会が主催するカラオケの時間や誕生会などの行事をサポートしました。

(10) 保健衛生

入所のご利用者様には、9月～10月と3月に健康診断を実施しました。その結果をもとに嘱託医と相談し病の早期発見と予防に努めました。

看護師・管理栄養士・介護福祉士で構成する誤嚥対策チームが、ご利用者様と職員に誤嚥予防の指導を行いました。

(11) アート活動

「DO アートジャンクション 2022」を5月13日から15日まで京都アバンティにおいて開催し、ご利用者様の作品を展示しました。

3月22日開催の法人設立40周年記念パーティーにおいて、ご利用者様の作品の展示・販売を行いました。

(12) 事故の発生状況

行政に報告書を提出した事故は次のとおりです。

発生日	内 容
8月 9日	50代男性 血管迷走神経反射から意識がもうろうとなり一時呼吸停止
9月 8日	40代女性 転倒により、下唇を6針縫合する切創

(13) 苦情受付状況

受付はありませんでした。

3 安全対策

(1) 訓練の実施状況

実施日	訓 練 内 容	参 加 者	備 考
6月 9日	避難・通報・消火訓練	利用者 35名 生活支援員 25名 看護師 1名 事務員 1名	
1月 26日	夜間想定での避難・通報・消火訓練	利用者 31名 生活支援員 2名	
3月 14日	青谷学園との合同総合訓練(避難・通報・消火・救護)	利用者 38名 施設長 生活支援員 10名 看護師 3名 管理栄養士 1名 事務員 1名 近隣者 7名	消防署立合あり 近隣者の参加あり
3月 22日	夜間想定での避難・通報・消火訓練	利用者 29名 生活支援員 3名	

(2) 感染症・食中毒対策

全職員にインフルエンザの予防接種を行いました。管理栄養士には、通常の検便項目の他にノロウイルス検査も行いました。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、N95マスク、検温機能付きのアルコールディスペンサー等の整備を行いました。京都府により定期的に行われた抗原検査は毎回全職員が受けました。

(3) 災害用備蓄品

ご利用者様と職員分を含めて50名が7日間生活できる量の食料と日用消耗品の備蓄について、点検並びに一部入れ替えを行いました。

4 職 員

(1) 残業の削減

一人ひとりが「残業をしない」という意識を持って取り組みました。管理監督者を除く職員の法定外残業時間は、非正規職員も含めたすべての職員で月平均22分、正規職員のみでは33分でした。

(2) 一般事業主行動計画

ア 年次有給休暇取得率

当該年度に付与された日数に対して取得率70%以上という目標は達成しました。

DOの全職員の平均取得率は92.6%、正規職員のみでは92.0%でした。

イ 職員家族の職場訪問

参加希望者がいませんでした。

(3) 育児休業取得状況

女性職員1名と男性職員1名が育児休業を取得しました。取得率は100%でした。

(4) 健康増進

1日2回のラジオ体操、腰痛予防体操の実施、ノーリフティングの徹底のほか、ルームランナーの利用促進のほか、体成分分析装置を使った健康管理やカロママによる食への意識向上に取り組みました。腰痛労働災害はありませんでした。

がん教育として、がん対策推進企業アクション制作のYouTube「がん教育講座」と小冊子「がん検診のススメ」の朗読を館内放送で流しました。

(5) 各種会議の開催状況

会議名	開催数
職員会議	6回
管理職会議	11回
個別支援会議	7回
人権委員会	12回
感染症・食中毒対策委員会	4回
虐待防止委員会	13回
リスクマネジメント委員会	4回
給食委員会	3回
合同作業会議	4回
PTカンファレンス会議	4回
衛生委員会	12回

(6) 研修受講の状況

ア 法人・施設主催

実施月日	内容	講師	場所	参加者内訳
5月17日	非常時における法人内施設の連携	青谷学園施設長	DOホール	施設長 生活支援員 17名 看護師 1名 管理栄養士 1名 事務員 2名
8月29日	実習学生担当者研修	次長(生活支援員)	職員室	生活支援員 2名
10月27日	メンタルヘルス研修「個人と組織の元気づくり～メンタルタフネスをめざして～」	ソーシャルスキル合同会社代表	青谷学園ホール	施設長 生活支援員 13名 看護師 2名 管理栄養士 1名 事務員 2名
11月24日	がんになっても働ける職場づくり～人生100年時代治療しながら働く職場を考える～	京都府産業保健総合支援センター産業保健専門職(保健師)	青谷学園ホール	施設長 生活支援員 9名 看護師 2名 管理栄養士 1名 事務員 2名
12月22日	腰痛予防研修	リーダー(生活支援員)	DOホール	生活支援員 7名 看護師 2名 管理栄養士 1名
12月27日	電子帳簿保存、スキャナ保存、電子取引保存	事務局長	法人本部事務室	事務員 1名
1月26日	誤嚥・窒息予防研修	看護師(リーダー)	DOホール	生活支援員 9名 看護師 2名 管理栄養士 1名
1月26日	OJTプリセプター研修	次長補佐(生活支援員)	職員室	生活支援員 1名

上記の他、採用時に新入職員研修を行いました。

イ 外部団体主催

開催日	研修会名	主催者	開催地	参加者内訳
4月22日	高齢・障害施設のための新型コロナウイルス感染症対策研修	京都府健康福祉部高齢者支援課・障害者支援課	オンライン	生活支援員 1名 看護師 1名
6月28日	ハラスメント研修	京都府社会福祉協議会	オンライン	生活支援員 1名
8月3日	強度行動障害支援者養成研修基礎編	南山城学園	城陽市	生活支援員 2名
8月15日	てんかん基礎講座	日本てんかん協会	オンライン	生活支援員 1名
8月24日	精神保健福祉基礎研修	京都府精神保健福祉総合センター	オンライン	生活支援員 1名
9月21日	障害者虐待防止・権利擁護研修	京都府社会福祉協議会	オンライン	生活支援員 1名
10月20日	障害者虐待防止・権利擁護研修Bコース	京都府	京都市	生活支援員 1名
3月16日 ～17日	強度行動障害支援者養成研修基礎編	ホットラインワールド	大津市	生活支援員 4名

5 情報公開

(1) ホームページの活用

ホームページを活用して様々な情報を発信しました。

(2) 広報誌の発行

ご利用者様とご家族様には施設の様子や連絡事項を掲載した「モリモリ新聞」を毎月発行しました。

(3) 第三者評価受審

施設の透明性を確保するために1月に第三者評価を受審しました。

6 固定資産の整備状況

時期	内 容	整備費
7月11日	一体型デスクトップパソコン3台(更新)	625,590円
7月11日	一体型デスクトップパソコン1台(更新)	248,778円
11月30日	冷凍冷蔵庫1台(更新)	410,300円
11月30日	スキャナ保存一体型複合機1台(更新)	788,333円
12月26日	食堂エアコン1台(更新)	777,857円
12月26日	1階廊下エアコン2台(更新)	740,817円
12月26日	更衣室エアコン1台(更新)	148,163円
12月26日	脱衣室エアコン1台(更新)	148,163円
12月26日	職員室エアコン1台(更新)	752,400円
12月26日	居室エアコン5台(更新)	501,600円
12月31日	無線アクセスポイント12台(整備)	2,283,233円
12月31日	PoEスイッチングHUB3台(整備)	575,667円

7 補助金等の受け入れ状況

交付団体	補助金等の種類	金額
京都府国保連	福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金	1,284,513円

京都府	新型コロナウイルス感染症に係る障害福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業補助金	413,000 円
京都府	原油価格・物価高騰対策緊急支援事業補助金	200,000 円
京都府	社会福祉施設等省エネ推進緊急対策支援事業補助金	1,330,000 円
城陽市	障がい者福祉施設等原油価格高騰対策支援給付金	45,000 円
城陽市	障がい者福祉施設等感染拡大防止対策事業助成金	725,000 円
合 計		3,997,513 円

8 改築計画の進捗

3月に、建築設計会社3社によるコンペによって設計事務所を選定し、基本計画の策定に着手しました。2023年度の補助金申請を目指します。

9 ご家族様とのかかわり

月に一度の家族会の連絡会は、新型コロナウイルス感染症の予防から回数を減らして行いました。

ご家族様を対象としたアンケート調査を実施しサービス向上に活用しました。

10 地域貢献

(1) 出張講座

学校等から出張講座の依頼がありませんでした。

(2) 実習学生の受入れ状況

学 校 名	目 的	人数	実 習 日
龍谷大学短期大学部	現場実習	3名	7月26日～8月4日
龍谷大学短期大学部	現場実習	4名	8月5日～8月14日
龍谷大学短期大学部	現場実習	4名	8月29日～9月7日
龍谷大学短期大学部	現場実習	3名	12月15日～12月25日
龍谷大学短期大学部	現場実習	1名	12月19日～12月28日
京都教育大学	介護等体験	1名	2月13日～2月17日

(3) インターンシップの受入れ状況

新型コロナウイルス感染症の予防から募集を中止しました。

(4) 地域とつながるイベント「DOスマイルミーティング」

新型コロナウイルス感染症の予防から中止しました。

特定相談支援事業所 青谷学園相談支援事業所

1 利用計画等作成状況

青谷学園とD Oのご利用者様にサービス等利用計画・モニタリング報告書を作成しました。新型コロナウイルスの流行はありましたが、感染対策をしっかりと行いご本人様とご家族様と対面で面接しました。

ここ数年の特徴として、ご利用者様の高齢化に伴い入院後にお亡くなりになられたり、長期治療になられたりして、介護保険や医療のサービスに移行となり、計画相談が終了することが増えました。

項 目	青谷学園	D O	その他	合 計
契約	7 3 件	3 6 件	0 件	1 0 9 件
サービス等利用計画書	2 4 件	2 5 件	0 件	4 9 件
モニタリング報告書	1 0 6 件	4 4 件	0 件	1 5 0 件
個別支援会議への参加	1 1 件	0 件	0 件	1 1 件

2 職 員

(1) 会議の開催状況

会 議 名	開 催 数
感染症対策委員会	4 回
虐待防止委員会	4 回

(2) 研修受講の状況

ア 法人主催

実施月日	内 容	講 師	場 所	参加者内訳
10月27日	メンタルヘルス研修「個人と組織の元気づくり～メンタルタフネスをめざして～」	ソーシャルスキル・プログラム合同会社代表	青谷学園ホール	管理者
11月24日	がんになっても働ける職場づくり～人生100年時代治療しながら働く職場を考える～	京都府産業保健総合支援センター 産業保健専門職(保健師)	青谷学園ホール	管理者
12月27日	電子帳簿保存、スキャナ保存、電子取引保存	事務局長	法人本部事務室	管理者

イ 外部団体主催

開催日	研 修 会 名	主 催 者	開催地	参加者内訳
5月12日	今さら聞けない！セミナー実務 担当者から経営者まで、知って納得、インボイス	ピー・シー・エー	オンライン	管理者
6月16日	フォントセミナー 伝わるプレゼンテーションのためのフォント選びとは	大塚商会	オンライン	管理者
8月24日 25日	精神保健福祉基礎研修(精神障害者の障害特性及びこれに応じた支援技法)	京都府精神保健福祉総合センター	オンライン	管理者
8月28日	ペアレント・メンターフォローアップ研修	京都府発達障害支援センターはばたき	オンライン	管理者
9月14日	管理職研修Ⅱ 現場出身管理職のための財務管理	京都府福祉人材サポートセンター	オンライン	管理者
9月15日	管理職研修Ⅲ 労務管理の基礎知識	京都府福祉人材サポートセンター	オンライン	管理者
10月25日	待ったなし！今から準備すべき改正電子帳簿保存対策	辻・本郷税理士法人	オンライン	管理者
1月23日	障害者・高齢者 虐待防止に向けて施設・事業所に求められる体制整備を目指して身体拘束を考える	京都府健康福祉部高齢者支援課	オンライン	管理者

3 補助金等の受け入れ状況

交付団体	補助金等の種類	金額
労働者健康安全機構	治療と仕事の両立支援助成金	600,000 円
城陽市	障がい者福祉施設等感染拡大防止対策事業助成金	20,000 円

事業報告の附属明細書

2022年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

社会福祉法人 青谷学園
理事長 白 檉 忠